

事業名

あだち子どもの日本語教室

取組内容

各地域の多様な機関・個人の協力を得て、**外国ルーツの子ども**の学びとつながりの場としての日本語教室を複数運営し、それらを**地域の社会的インフラ**として安定的に機能させるため活動の充実・発展を図った。

竹の塚

毎週土曜日 午前10:00-12:00(2時間)
全クラス同時

新田

毎週土曜日 午後 3:30-4:30
幼児(1クラス)
午後 4:30-5:30 小学生以上(2クラス)

◆事業期間

令和6年9月1日
～令和7年3月31日

◆実績(人数・件数等)

竹の塚：延べ397人(実数：37人)

◆新田：延べ445人(実数：30人)



絵カードを使った日本語授業

効果

- 全67名の3歳～17歳の子どもに**学びとつながり**を築くための場を提供した
- 支援者としても多様なルーツをもつ若者が参画し、**ロールモデル**の役割を果たした

事業を振り返って

代表理事 山田拓路さん



竹の塚教室の様子

多様なルーツをもつ子どもたちが、**同年代の仲間**や、少し年上の「先輩」と出会い、言葉にしづらい気持ちを分かち合いながら、前向きにこの社会で生きていこうと思える**安心感と自信**を涵養することができたと考えています。地域で急増するニーズに対応できる**キャパシティの拡充と支援メニューの多角化**が急務と考えています。